

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	教育相談 (Educational Counseling)		
ナンバリングコード	K20108	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年(2018年度以前) 2年(2019年度以降) / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修)		
授業コード	K001551	クラス名	-
担当教員名	久木山 健一		
履修上の注意、 履修条件	教職を目指す学生は必ず受講してください。 正当な理由による以外の遅刻・欠席、講義中のスマートフォンの使用、私語、無断での途中退室など、他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。		
教科書	文部科学省 2011 生徒指導提要. 教育図書. 文部科学省HPよりダウンロードできます https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008.htm		
参考文献及び指定図書	講義時に適宜指示します。		
関連科目	生徒指導、特別活動の研究、その他教職課程科目		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	教職科目の必修課程である。生徒指導論において、不登校、いじめ、非行など、さまざまな心理的問題や行動上の問題の存在について学んだが、教育相談にはそうした問題を有する生徒に個別に対応する方法をみにつけられることを目的とする。そして、生徒の心の問題に個別に対応するためには、生徒だけではなく学校、家庭、地域全体で取り組む必要があることの理解も目的とする。
授業の概要	本講義では、教育の場で実際に教育相談を行う際に必要な知識について学習します。その際、生徒との関係だけではなく、他の教職員、保護者、地域などとの有機的なつながりのなかでの教育相談のあり方について具体的に理解できるようにします。また、教育相談を行う際に有用なカウンセリングの理論と技法についての学習も行います。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング 調査学習 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教職を目指す者として教育相談の意義と必要性を理解できる。	10点	5点	5点
【知識・理解】	中学生・高校生の発達上の諸問題について理解できる。	10点	5点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	カウンセリングの基本的技法について理解し、方法を身に付けられる。 個別のケース検討に対して積極的に自らの意見を発表できる。	20点	5点	5点
【思考・判断・創造】	スクールカウンセラーを含む外部機関との連携のあり方について理解できる。 中学生・高校生をめぐる諸問題に対してさまざまな観点から考えることができる。	20点	5点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回の講義の最後に提出する小テストは、その内容を点数化し、評価に加えます。評価方法は以下の通りです。 A 講義の内容をよく理解し、振り返りながら自分の意見をしっかりと述べている。 B 講義の内容をよく理解し、振り返ることができる。 C 講義の内容をだいたい理解し、振り返ることができる。 D 講義の内容を一部理解し、振り返ることができる。 なお、質問等については、必要に応じて次回講義の導入で振り返りを含めて触れていき、その中で質問に回答します。

○その他

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：教育相談 (Educational Counseling) 担当教員：久木山 健一	授業コード：K001551
学修内容		
1. オリエンテーション(教育相談と生徒指導) 自身がこれまで受けてきた教育相談を振り返り、教育相談と生徒指導の定義に従って捉えなおす。		
予習：生徒指導提要の第5章第1節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
2. 学校における教育相談の特質 学校における教育相談の特質について理解する スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携について学ぶ。		
予習：生徒指導提要の第5章第2節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
3. 専門機関等との連携 医療機関、児童福祉機関、児童相談所、刑事司法関係、NPOなどとの連携について理解する。		
予習：生徒指導提要の第5章第4節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
4. 教育相談体制の構築 教育相談体制づくりの前提、教育相談の組織。教育相談の計画、教育相談の研修、教育相談の評価について理解する。		
予習：生徒指導提要の第5章第2節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
5. 問題の存在や原因の気づき方 教育相談の対象、教育相談の実施者、教育相談の場面、学級担任・ホームルーム担任が行う教育相談について理解する。		
予習：生徒指導提要の第5章第3節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
6. カウンセリングの技法 自主的な相談への対応の仕方、呼び出し面接の進め方、あらゆる場面での教育相談、定期教育相談の進め方、守秘義務などについて理解する		
予習：生徒指導提要の第5章第3節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
7. 問題を未然に防ぐための予防的教育相談の方法 何事も生じていないときの働きかけの大切さ、児童生徒の問題行動の心理環境的背景にあるもの、育てる(発達促進的・開発的)教育相談という考え方などについて理解する		
予習：生徒指導提要の第5章第3節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
8. 予防的教育相談の新たな展開 グループエンカウンター、ピア・サポート活動、ソーシャルスキルトレーニング、アンガーマネジメント、キャリアカウンセリングなどについて理解する。		
予習：生徒指導提要の第5章第3節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)

○授業計画	科目名：教育相談 (Educational Counseling) 担当教員：久木山 健一	授業コード：K001551
学修内容		
9. 教育相談における保護者とのかかわり 保護者面接の意義、保護者とのかかわりの難しさとその背景、保護者面接の進め方について理解する		
予習：生徒指導提要の第5章第3節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
10. 相談担当教員、養護教諭、学校管理職の教育相談的役割 教育相談担当教員が行う教育相談(学級担任・ホームルーム担任へのサポート、校内への情報提供、校内及び校外の関係機関との連絡調整、校内及び校外の関係機関との連絡調整、教育相談に関する調査研究の推進)、養護教諭が行う教育相談、学校管理職の教育相談的役割について理解する。		
予習：生徒指導提要の第5章第3節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
11. 児童生徒理解の基本、児童期の心理と発達 児童生徒理解の重要性、児童生徒理解の対象、児童生徒理解に必要な資料の収集と解釈、児童期の発達の特徴、発達障害について理解する。		
予習：生徒指導提要の第3章第1節、第2節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
12. 青年期の心理と発達 青年期の発達の特徴、発達障害と思春期について理解する。		
予習：生徒指導提要の第3章第3節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
13. 児童生徒理解の資料とその収集 資料収集の目的、把握理解すべき内容、資料収集の方法、保護者からの資料収集、資料収集に当たっての留意点について理解する		
予習：生徒指導提要の第3章第4節の該当箇所を読んでおく		(約2.0h)
復習：小テストで間違ったところを講義レジュメと資料で振り返る。		(約2.0h)
14. 個々の課題を抱える児童生徒への指導1 「喫煙・飲酒・薬物乱用、少年非行、暴力行為、いじめ、インターネット・携帯電話にかかわる課題、性に関する課題、命の教育と自殺の防止、児童虐待、家出、不登校、中途退学」などのさまざまな課題より関心のあるものを選び、これまでの授業内容を元に教育相談計画を立てる。		
予習：生徒指導提要の第6章Ⅱをよみさまざまな教育相談の対象を具体的に理解する		(約2.0h)
復習：自分の書いたレポートに対して他者からコメントをもらいそれに基づき記述をみなおす		(約2.0h)
15. 個々の課題を抱える児童生徒への指導2 「喫煙・飲酒・薬物乱用、少年非行、暴力行為、いじめ、インターネット・携帯電話にかかわる課題、性に関する課題、命の教育と自殺の防止、児童虐待、家出、不登校、中途退学」などのさまざまな課題より前回の授業とは重複しないテーマを選び、これまでの授業内容を元に教育相談計画を立てる。		
予習：生徒指導提要の第6章Ⅱをよみさまざまな教育相談の対象を具体的に理解する		(約2.0h)
復習：自分の書いたレポートに対して他者からコメントをもらいそれに基づき記述をみなおす		(約2.0h)
16. 期末試験 これまでの内容について論述形式のレポート試験を実施します。		
予習：		
復習：		